

日本人の海外移住と横浜開港の歴史MAP



日本人ペルー移住100周年記念像「リマちゃん」
 1899年2月27日、第一次航海船「佐倉丸」は790名の日本人を乗せ、横浜港を出航。同年4月3日にペルーの首都リマの外港カヤオ港に到着しました。
 日本人が最初にペルーに渡ってから100年が経過した1999年2月27日に、移住先駆者の鎮魂を祈り、21世紀へとつづく日本とペルーの友好を願って建立されました。

日本ブラジル修好100周年記念碑 歴史と未来への賛歌 - 虹の空間 95 ESPAÇO ARCO-IRIS 95
 1895年にパリで日伯修好通商航海条約が調印されました(同条約をもって正式に国交樹立)。同条約調印から100周年を記念して設置。同型の記念碑がサンパウロ市のパンアメリカン広場にも設置されています。

第2次世界大戦後の多くの日本人を救った「ララ」物資
 最初のララ(LARA)物資を乗せたハワード・スタンベリー号が横浜新港埠頭に着岸したのが1946年11月30日。以降、6年間当時の金額で400億円相当の支援物資が送られ、そのうちの約20%が在留邦人や日系人の皆様から送られた支援物資だと言われています。
 ※LARA: Licensed Agencies for Relief in Asia(アジア救援公認団体の略)


最後の移民船「につぼん丸」が横浜(大さん橋)を出航したのが1973年2月14日。それまでの間多くの移民船が横浜から出港しました。

東横浜駅跡
 太陽の母子 アイスクリーム発祥の碑
 吉田橋関門跡


移民宿・移住あっせん所

- ① 熊本屋旅館
- ② 鳶屋旅館
- ③ 福島旅館
- ④ 大島屋旅館
- ⑤ 福井屋
- ⑥ 上州屋
- ⑦ 大勢屋旅館
- ⑧ 津久井屋旅館
- ⑨ 大野屋旅館
- ⑩ 長野屋
- ⑪ 信濃屋
- ⑫ 松阪屋旅館
- ⑬ 紀ノ国屋
- ⑭ 外務省横浜移住あっせん所


- JICA横浜センターの変遷 -



外務省横浜移住あっせん所
1956 - 1961



海外移住センター^{*1}
1961 - 2002



横浜センター
2002 -

^{*1} 「あっせん所」から「移住センター」へ。名称の変遷
 1961 横浜移住あっせん所
 1964 横浜移住センター(外務省から移管)
 1971 海外移住センター(神戸移住センターと統合・改称)

日本人移民・横浜の歴史にまつわる石碑や史跡

- ① ララ物資の記念碑
- ② ララ倉庫(跡地)²
- ③ 東横浜駅
- ④ 日本人ペルー移住100周年記念像「リマちゃん」
- ⑤ 日本ブラジル修好100周年記念碑 歴史と未来への賛歌 - 虹空間 95
- ⑥ 日米和親条約締結の地
- ⑦ 横浜税関遺構 鉄軌道及び転車台
- ⑧ 外国郵便創業の局
- ⑨ 我国最古の公園
- ⑩ 神奈川県電気発祥の地
- ⑪ 吉田橋関門跡
- ⑫ 太陽の母子(アイスクリーム発祥の碑)
- ⑬ 日本で最初のガス灯
- ⑭ 鉄道創業の地・開業当時の横浜駅長室跡

リマちゃんのお姉さん「さくらちゃん」
 日本人ペルー移住100周年を記念して建てられた「リマちゃん」には、ペルーの首都リマ市にお姉さんがいます。日本人ペルー移住90周年を記念してリマ市にあるペルー日系人協会に建てられた「さくらちゃん」です。さくらちゃん、リマちゃん姉妹は太平洋をはさんで握手をしているかのようです。
 さくらちゃんの小さな手はたくさんの人たちと握手してきたので、その手は黒真珠のように光輝いています。

ララ救援物資配分経路及手続図 出典『ララ記念誌』厚生省(1952)



ララ物資は横浜港に到着すると、ララ倉庫(旧三井物産横浜支店倉庫)に一時保管されたあと、東横浜駅(現在のJR桜木町駅)から全国各地に配布されました。
 ララ倉庫は1910年に竣工された歴史あるレンガ造りの倉庫建築でしたが、2015年に解体されました。

^{*2}【参考】はまぽ.com 「ララ物資って何? 横浜とのつながりは?」